

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	超高齢者における胆石症の現況
研究責任者	小林 郁美
研究実施体制	聖隷浜松病院のみの研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2020年5月
対象者	2014年1月から2018年12月の間に聖隷浜松病院消化器内科に入院した入院時の年齢が85歳以上の入院病名が「総胆管結石」「総胆管結石性胆管炎」「胆石性胆のう炎」「胆石性急性胆のう炎」「胆石性膵炎」「胆管結石性胆管炎」「胆管炎」「急性閉塞性胆管炎」の患者。
研究の意義・目的	胆石症患者の胆管炎等の再発率を把握し、高齢者に対する胆管炎等治療後の予防的胆嚢摘出術をどの程度推奨するかを確認する目的とする。
研究の方法	当院で過去に胆石症による胆管炎等で入院加療を行い、ERCPで結石の排石を認めた超高齢者の症例に対して治療後に予防的胆嚢術を行うことでどの程度再発率が低下するかについてretrospectiveに検討を行う。評価項目は同病名での再発による入院の有無等で比較検討を行う。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 消化器内科 (氏名)小林郁美 TEL:053-474-2222(代表) 消化器内科外来 9:00~17:00 平日